

美作国府 再発見

国府は、今から約800～1,300年前の奈良～平安時代に全国に60あまりあった「国」ごとに置かれた政治・経済・文化の中心的施設の一つです。美作国は和銅6年（713）に備前国から北部の6郡（英多・勝田・苫田・久米・大庭・真嶋郡）を分けて新たに誕生した国で、国府は津山盆地北西側の標高120mの台地上にあたる、津山市山北・総社・小原周辺にあったと推定されています。

この美作国府跡は、これまでに中国自動車道建設時や津山市教育委員会により発掘調査が行われ、それぞれ成果を上げています。中国道建設に伴う発掘調査では、都から派遣された国司の官職名である「少目」と記された墨書土器が出土し、国司が滞在した「国司館」と思われる施設が見つかりました。また、津山市教育委員会の調査では、国府の中心とされる政治や儀式・饗宴を行っていた「政庁」の建物や区画施設が見つかったことから、現在の国府台寺付近に「正殿」があったのではないかと推定されるにいたっています。

今回、都市計画道路大谷一宮線街路改築に伴う発掘調査を、推定される国府域の東部分を南北に貫通するに行いました。調査成果の一端を紹介します。



美作国府 再発見！

奈良時代の美作国府

奈良時代の遺構は、掘立柱建物・道路状遺構・井戸などが見つっています。当時の役所に使われたと思われる掘立柱建物は、全部で8棟が発見されました。ほとんどの建物は真北を意識して建てられており、美作国の役所として威厳を保っていたようです。建物の柱穴は大きいものでは径0.8～1.0mほどあり、かなり太い柱が立ち並ぶ建物であったと思われます。これらの建物は、政庁に近いほど柱穴が大きく、柱の並びもしっかりして、長大になります。

政庁の東側付近では、一辺が3mほどもある井戸が見つかり、中から檜扇が出土しました。檜扇は県内での出土はほとんどない貴重な資料です。

現美作総社宮に通じる参道と思われるものが見つかり、この道は、国府があった時期にも通っていた可能性が出てきました。政庁の南側をほぼ東西方向に走るこの道は、美作国府跡の区画にもとづいて設けられたと考えられます。なお道に平行して建てられた建物も見つっています。



政庁付近の掘立柱建物



檜扇出土の大井戸



総社宮に通じる古代の道路



古代の道路に平行して建てられた建物

平安時代の美作国府

推定国府範囲の南端にある谷の中からは、平安時代の掘立柱建物が集中して見つかりました。なかには溝で区画した立派な建物もあります。建物群のすぐ南側からは、幅3～4mほどある大溝が発見されました。この大溝の南側からは、国府があった時期の遺物や遺構はほとんど見つからなかったことから、この溝が国府域の南の境にあたるのかもしれませんが。



区画溝をもつ建物群と大溝

〈国府ならではの出土品〉



ほうとうのたち つかがしら さやじり
方頭大刀の柄頭と鞘尻



石製のベルト飾り (丸鞆)



「苦」の刻印のある須恵器

美作国府以前

国府がこの地に置かれる以前、弥生時代には集落がありました。特に中期～後期にかけての竪穴住居や墓が見つっています。また、前期の土器も見つっており、この場所には地域の拠点となる弥生集落があったと思われます。

弥生人にとっても住みよい環境であったからこそ、国府がこの地に置かれたのでしょう。
(小林利晴)



弥生時代後期 (約1,800年前) の竪穴住居



甦る！古代吉備の国 謎の鬼ノ城



古代吉備文化財センターでは、総社市奥坂にある古代山城「鬼ノ城」の発掘調査を平成18年度から7か年計画で実施しています。3年目にあたる今年度は、昨年度に引き続き、礎石建物群がある城内の中心部を7月から12月にかけて調査しました。調査の結果、飛鳥時代（7世紀後半）の礎石建物2棟の全容が明らかになるなど、鬼ノ城の実態に迫る成果が得られました。



長大な側柱礎石建物（西から）



側柱礎石建物と基壇石列（南東から）

総柱礎石建物は、内部にも礎石をもつことから高床の倉庫と考えています。今回見つかったのは、桁行5.2m、梁行5.0mのほぼ正方形の建物で、鬼ノ城の倉庫では最も小さいものです。周辺には他にも4棟の総柱礎石建物があり、城内に必要な物資を貯蔵する倉庫が立ち並ぶ、重要なエリアだったことが想像されます。ただ残念なことに、今のところ倉庫に何が納められていたのかは分かっていません。



総柱礎石建物（南西から）

見つかった礎石建物

今回の調査では、側柱かわばしらと総柱そうばしらの礎石建物が1棟ずつ見つかりました。

側柱礎石建物は、桁行が17.8m、梁行が6.5m、面積が116㎡を測る長大な建物です。建物には、石を南面に一列に並べた基壇きだん（建物の土台）が伴っていました。昨年度の調査時には、この建物の北側でほぼ同じ規模の礎石建物が見つっています。これら2棟の側柱礎石建物は、鬼ノ城を管理する役人などが駐在する管理棟の役割を担っていたと考えられ、まさに鬼ノ城の中核といえます。

また、この建物の礎石は鬼ノ城廃絶後、平安時代になると再利用されたことも分かりました。当時盛んだった山岳仏教の寺院の建物として使われたようです。

調査期間中、小中学生を対象とした「夏休み少女鬼ノ城教室」、調査の成果や発掘作業の様子を公開する「城内調査大公開」、城内を散策しながら自然と歴史に触れる「鬼ノ城うおーく」を開催し、大勢の方々にご参加いただきました。参加者の皆様、どうもありがとうございました。来年度もよろしくお願ひします。（岡本泰典）



礎石建物の見学（大公開Ⅰ）



水門の見学（鬼ノ城うおーく）



礎石の測量体験（鬼ノ城教室）

イベント名	開催日	参加者
夏休み少女鬼ノ城教室	7月26日(土)	32名
謎の鬼ノ城城内調査大公開Ⅰ	9月8日(月)～14日(日)	668名
謎の鬼ノ城城内調査大公開Ⅱ	12月1日(月)～7日(日)	488名
阿曾小学校発掘体験	10月17日(金)	23名
鬼ノ城うおーく	10月25日(土)	19名



みこっちゃん

じょうとうなかしま 上東中嶋遺跡 倉敷市上東

県道吉備津松島線道路改築に伴う上東中嶋遺跡の発掘調査では、現代の用水路を挟むように調査しており、用水路の東西で遺跡の様子が大きく異なることが判明しました。用水路東側は、古代以前には低湿地で、中世以降に耕作地として活用されるようになり、現代に至っています。一方、用水路の西側は微高地で、縄文時代晩期の土器や石器、石屑が多く出土し、さらに弥生時代後期の土器棺や土壇どくわんが見つかりました。また、中世の柱穴列や井戸、溝、土壇も確認しています。ところで、調査区を貫流する用水路は、寿永元年（1182）に妹尾兼康が開削した伝承を持つ「湛井十二ヶ郷用水」で、「上東用水」と呼ばれているものです。今回の調査ではこの「上東用水」の西側壁面の可能性がある傾斜面が見つかりました。この傾斜面は、出土した土器から鎌倉時代（13世紀後半）に形づくられたと思われます。（上村 武）



弥生時代の土器棺（西から）



鎌倉時代の傾斜面と現代の用水路（西から）

～文化財センターにおいでよ～

体験講座・野外講座



何色に染まるかな？
[屋外での布の染色] (後期講座から)



糸がもつれないように！
[機織り]

講座名	開催日	人数
むかし体験講座前期1 『土器を作る～製塩土器の製作体験』	5月24日(土)	28名
むかし体験講座前期2 『土器を使って塩を作る～土器製塩体験』	6月7日(土)	24名
むかし体験講座後期 『弥生の布を作るう～機織り・草木染め体験』	10月11日(土)	28名
いせき探検講座 『吉備中山を歩く』	2月21日(土)	61名

学校連携事業



測量は難しい(*^_^*)



土器がデタゾ～(^o^)

学校種	目的	学校数	児童生徒数
小学校	見学	7校	396名
中学校	職場体験	8校	18名
	総合学習	1校	120名
高校	総合学習	2校	18名
大学	インターシップ	2校	2名
特別支援校	出前授業	2校	46名

大地からの便り 2008



熱気むんむん!! 報告会会場

報告会: 8月23日(土) 参加者185名	於岡山県立博物館
展示会: 7月31日(木)～8月31日(日)	於岡山県立博物館
(1) 三輪遺跡群	(総社市) 総社市教育委員会
(2) 勝負砂古墳	(倉敷市) 岡山大学考古学研究室
(3) 婦本路古墳群・八塚古墳群	(赤磐市) 県文化財センター
(4) 鬼城山	(総社市) 県文化財センター
(5) 岡山後楽園	(岡山市) 県文化財センター
(6) 安住院多宝塔	(岡山市) 岡山市教育委員会

津島遺跡! やよい体験

11月1日・2日の2日間、岡山県総合グラウンドで開催し、復元住居の前で勾玉作り・火おこし・脱穀体験などを行い、800名の方にご参加をいただきました。

このほか、夏休みにはセンターを会場に児童・生徒を対象にした「てんじ室探検隊」を実施しました。



津島遺跡復元住居の前で



大人気!! 勾玉作り

企画展・関連講座



熱いゾ～展示解説



最新成果の関連講座

企画展	開催日程
最近刊行された発掘調査報告書からI 鳥取自動車道関連遺跡群	4月22日～7月21日
最近刊行された発掘調査報告書からII 大河内遺跡・百間川原尾島遺跡ほか	7月23日～10月19日
吉備の鉄と塩	10月21日～1月18日
食生活の移り変わり	1月20日～4月20日

それぞれの展示に併せて関連講座を開催しました。

センター周辺の古墳

当センターが所在する吉備中山にも多くの古墳が築かれており、2月のいせき探検講座ではそれらの探訪と観察を行いました。そのうち2基の古墳をここで紹介します。センターにおいでの際に、これらにも足をのぼしてみたいかをご紹介します。

なかやまちやうすやま こ ふん 中山茶臼山古墳

吉備中山の山頂に築かれた全長120mの前方後円墳。前方部を南に向け、後円部は二段になるようです。特殊器台形埴輪を伴い、前期前半に位置づけられます。「大吉備津彦命墓」とされ宮内庁の管轄となっているため墳丘に立ち入ることはできません

が、東側のフェンス沿いに北に上ると後円部東墳端付近に所在する石仏までは近づくことができ、後円部の状況や散在する葺石を目にすることができます。

センター正門の北東300mの山頂に位置しており、往復30分程度で見に行くことができます。

おのうえくるまやま こ ふん 尾上車山古墳

文化財センターの東南1.1kmに所在する全長135mの前方後円墳。丘陵の先端部を利用して築かれており、前方部を東に向けます。埴輪を伴うことが知られており、中期前半の築造と推定されます。

東からセンターに至る道路に面して案内標識があるのでそこから上がり、南の送電鉄塔が後円部裾付近になるのでそれを目指して進めば古墳に至ります。進入路付近に駐車場はないので、安全な位置に車を置いて歩いていくことになります。



現地説明会



美作国府跡発掘調査現場にて9月27日(土)に開催しました。参加者150名。



平成20年度各課事業一覧

〈試掘調査・確認調査・発掘調査〉

課	遺跡名 (所在地)	調査原因	種別	遺跡の内容・成果	調査期間 調査面積
調査第一課	南方遺跡 (岡山市南方)	岡山法務総合庁舎建設	確認	3か所にトレンチ設定。中世水田層の下位に、弥生時代のもものと見られる袋状土壇、溝などを検出したほか、一部では弥生時代の包含層を確認し、微高地の広がりと考えられる。	4.24～5.2 60㎡
	横島人谷遺跡 (笠岡市横島)	一般国道2号(等岡バイパス)改築	確認	5か所にトレンチを設定。一部で耕作土中より須恵器が出土するも、遺構・包含層は確認できなかった。	5.14～5.27 75㎡
	(新見市土橋)	主要地方道北房井倉哲西線 単県道路改築	試掘	2か所にトレンチを設定したが、遺構・包含層は確認できなかった。	6.9～6.13 5㎡
	胎金寺跡 (浅口市金光町)	一般国道2号玉島笠岡 道路建設	確認	胎金寺跡周辺に4か所のトレンチを設定。表土直下で幕末～明治期の陶磁器・瓦が出土するも、遺構の広がり確認できなかった。	7.7～7.16 36㎡
	山洋田遺跡 (総社市上林)	広域基幹河川改修 (二級河川前川)	確認	4か所にトレンチを設定。一部で古墳の周溝かと思われる遺構を検出。また、遺構内より弥生土器・特殊器台片も出土しており、周辺に弥生時代遺構の広がり想定できる。	11.10～11.18 40㎡
	大河内遺跡ほか (勝央町黒土)	一般国道374号(美作岡山道路) 道路改築	確認	3か所にトレンチ設定。調査範囲南端で大河内遺跡の北端部を確認。北側では、及遺跡から南に延びる微高地に中世の土壇、包含層を確認。	11.25～12.5 26㎡
	史跡鬼城山 (総社市奥坂)	城内の確認・整備・活用	確認	飛鳥時代の古代山城、2棟の礎石建物の構造確認。うち1棟は基壇を伴い、礎石は平安時代の仏教関連施設として再利用。	7.1～12.25 1,350㎡
第二課	南溝手遺跡ほか (総社市南溝手ほか)	一般県道服部停車場線 道路改築	全面	弥生時代から中世の集落遺跡。微高地上で、中世の建物・土壇墓・土壇・溝、古墳時代後期の住居、弥生時代中期の土器溜まり等を検出。低位部北端では、微高地に沿うように掘削された弥生時代後期の溝を確認した。	4.1～6.30 1.1～3.31 1,893㎡
調査第三課	美作国府ほか (津山市山北)	都市計画道路大谷一宮線 街路改築	全面	奈良～平安時代の役所跡の調査。建物・井戸・道路状遺構などを検出し、陶硯類や「苦」刻印土器・平城宮式瓦などを発見。なかでも一辺3mある大井戸の検出と、井戸の中から椀扇を発見したことが特筆される。	4.1～1.31 7,320㎡
	伊福定国前遺跡 (岡山市伊福町)	独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター宿舎整備工事	全面	弥生時代中・後期にわたる集落・水田跡と、緑釉・灰釉陶器や墨書土器・凹面硯を伴う古代の建物・井戸等を検出。	4.1～8.31 1,031㎡
	上東中嶋遺跡 (倉敷市上東)	一般県道吉備津松島線 道路改築	全面	微高地端部で弥生時代の上器棺、土壇、中世の柱穴列、井戸、溝を検出。縄文土器や弥生土器、石器、土師器、須恵器などが出土。低位部は中世以降に耕作地として利用される。	10.1～2.28 1,630㎡

〈報告書作成・刊行〉

課	作成(遺跡名)	刊行報告書(遺跡名)
調査第一課	鬼城山	県報告223(岡山後楽園)
調査第二課	中撫川遺跡、中島遺跡ほか、 延寿寺跡ほか、上東中嶋遺跡	県報告217(百間川今谷遺跡4)、県報告218(八塚古墳群)、県報告220(中撫川遺跡3)、県報告221(中島遺跡・宮南遺跡・国長遺跡・天神河原遺跡)、 県報告222(延寿寺跡・倉ヶ市遺跡・下上田遺跡)
調査第三課	伊福定国前遺跡、美作国府跡ほか	県報告219(鍛冶屋D遺跡)

〈その他〉

課	内 容
調査第一課	出土品等の展示・貸出、ホームページ作成、メールマガジン配信、考古学講座、大地からの便り、「所報古備」作成、津島遺跡やよい体験、市町村指導、職場体験受入、学校等出前講座、その他普及啓発事業、収蔵管理
調査第二課	イベント出展(百間川フェスティバル・中山中ふれあいサタデー・沢田柿まつり)
調査第三課	美作国府跡現地説明会



メールマガジン「大地からの便り」読者募集中!



編集・発行

岡山県古代吉備文化財センター

所在地 〒701-0136 岡山市西花尻1325-3

TEL (086) 293-3211 FAX (086) 293-0142

http://www.pref.okayama.jp/kyoiku/kodai/kodaik.htm

- 交通案内
 - ・JR山陽本線庭瀬駅下車徒歩40分
 - ・JR吉備線吉備津駅下車徒歩25分

●業務時間 AM8:30～PM5:15

●休業日 土・日曜日及び祝日、年末・年始

●展示室の開館 AM9:00～PM5:00

年末・年始を除き、土・日・祝日も開館しています。
ただし、臨時に休館することがあります。



なくしていこう、差別・偏見・いじめ